

平成 21 年 11 月の公社債市場

(1) 流通市場

平成 21 年 11 月の 10 年国債の利回り (注 1) は、月初は 5 日の 10 年利付国債の入札が需給悪化を裏付ける結果であったことや、財政悪化懸念から米国大手格付機関による日本国債の格付見直しが言及されたこと等を背景に前月の地合いを引き継ぎ、上昇 (価格は下落) 傾向を示した。利回りは 9 日には 1.470% となり、今年 8 月 10 日以来の水準となった。

しかし、中旬以降は「事業仕分け」等の来年度予算の歳出削減への取り組みや、来年度の国債発行額について 44 兆円を目処とする旨の発言が主要閣僚から相次いだことから、財政悪化の懸念が後退し、買い安心感が広がったことから利回りは下落 (価格は上昇) に転じた。その後も 20 日に発表された月例経済報告において、政府が日本経済について、デフレを認定したことにより、金利の反転が見込めないことから、改めて、需要が高まったことから、利回りは緩やかながらも更に低下を続け、18 日には 1.300% となった。

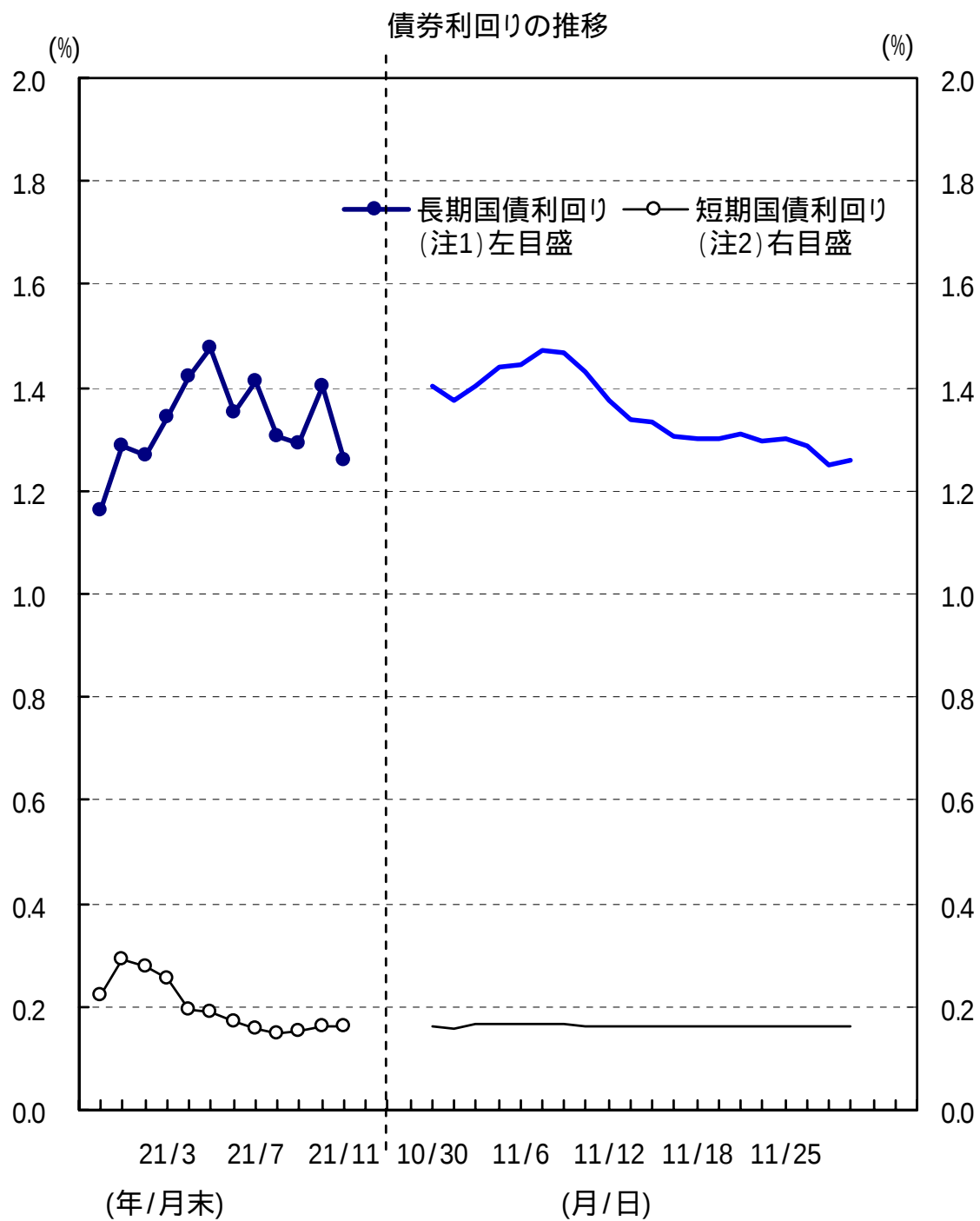
月末にかけては、25 日にアラブ首長国連邦ドバイ首長国政府が政府系持ち株会社の債務の返済猶予を債権者に要請する旨の発表したことにより、ドバイ政府の信用問題が認識されたことに端を発した、世界的な株価の下落から安全資産である国債の需要がより高まったことから買い進まれ、利回りは一層の低下となり、27 日には、1.250% となった。

月末時点の、利回りは前月比 14.3bp 減少の 1.261% となり、1 ヶ月ぶりの 1.2% 台となった。

国庫短期証券の利回り (注 2) は、動意に乏しい中、月中を通じて 0.16% を挟む狭いレンジで推移した。月末時点では、前月末と変わらず 0.160% となった。

(注 1) 長期国債 (10 年) 直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

(注 2) 国庫短期証券 (3 か月) 直近発行に係るものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。



(注1) 長期国債(10年) 直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値の
 平均値(単利)。

(注2) 国庫短期証券(3か月) 直近発行に係るものの公社債店頭売買参
 考統計値の平均値(単利)。

[平成 21 年 11 月の主なトピックス]

日 付	トピックス
11月 1日	米国 商業金融大手 連邦破産法 11 条の適用を申請し、経営破綻。 翌日の日経平均株価終値は前日比 231.79 円の下落。
11月 2日	行政刷新会議 「事業仕分け」着手 月内に200程度の事業を対象に存廃の結論を出す。 平成 22 年度予算編成に向けて、「3 兆円超」の歳出削減を目標。
11月 5日	財務省 10年利付国債（第304回リオープン）入札結果 表面利率 1.4% 募入平均利回り 1.441% 応札倍率 2.42倍 テール（最低落札価格と平均落札価格の差） 14銭
11月 10日	藤井裕久財務大臣 閣議後会見 平成 22 年度予算の編成にあたっては長期金利が上昇傾向にあることを最も重視し、平成 21 年度新規国債発行額を約 44 兆円をめどに抑制し、国債市場の信頼を得るよう努力する旨の発言。 フィッチ・レーティングス 来年度の日本の国債発行額が 4 兆円を大幅に上回れば、現在「AA-」の格付けの見直しを余儀なくされる旨の見解を示した。
11月 12日	利付国庫債券（5年）（第85回）入札結果 表面利率 0.7% 募入平均利回り 0.693% 応札倍率 3.7倍 テール 2銭
11月 14日	鳩山由紀夫内閣総理大臣 平成 22 年年度の国債発行額について、44 兆円を目標に抑制し、その目標は極力果たさなければならない旨の発言。
11月 20日	内閣府 11 月経済月例報告発表 日本経済について「物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。」と認定。 政府によるデフレ宣言は 2006 年 6 月以来、3 年 5 カ月ぶり。
11月 25日	アラブ首長国連邦ドバイ首長国 ドバイ首長国政府系の持ち株会社「ドバイワールド」が数百億ドルの債務の返済猶予を要請すると発表。 ドバイ首長国に対する信用不安から、欧州株が急落。 27日の日経平均株価終値は前日比300円を超える下落。 同日の外為市場では、1 ドル = 86.16円まで円高が進行。
11月 27日	行政刷新会議 「事業仕分け」終了 事業の削減総額は約7,000億円。 独立行政法人等の基金、特別会計の積立金からの国庫返納要求額は約 1 兆円。 合計で約 1.7 兆円の財源捻出を見込む。

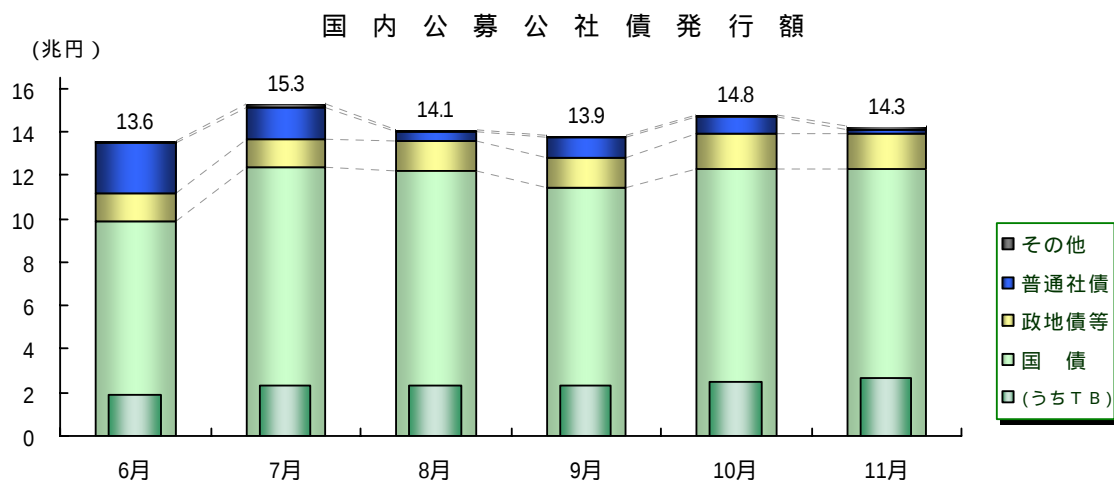
日 付	長期国債（注１）		短期国債（注２）	
		参考統計値		参考統計値
10月30日	304 回債(発行済)	1.404%	65 回債	0.160%
11月2日		1.375%	↓	0.159%
4日		1.401%	67 回債	0.165%
5日		1.440%		0.165%
6日		1.445%		0.165%
9日		1.470%		0.165%
10日		1.467%	↓	0.165%
11日		1.430%	69 回債	0.162%
12日		1.375%		0.160%
13日		1.340%		0.160%
16日		1.335%		0.160%
17日		1.305%	↓	0.160%
18日		1.300%	71 回債	0.160%
19日		1.300%		0.160%
20日		1.308%		0.160%
24日		1.295%	↓	0.160%
25日		1.300%	72 回債	0.160%
26日		1.285%		0.160%
27日		1.250%		0.160%
30日	↓	1.261%	↓	0.160%

（注１）長期国債（10年）直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

（注２）国庫短期証券（3か月）直近発行に係るものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

(2) 発行市場

平成 21 年 11 月の国内公募公社債発行額は、14 兆 3,077 億円となり、前月比 4,803 億円の減少（3.2%減）となった。



- (注) 1. 国内で発行された公募債のみを対象として集計(払込日ベース)。
 2. 国債は市中消化分。ただし、郵貯窓販分及び個人向け国債を含む。
 3. 政地債等は、地方債、政府保証債、財投機関債及び地方公社債の合計。
 4. その他は、転換社債型新株予約権付社債(CB)、資産担保型社債及び円建外債の合計。

国債

- ・国債の発行額は、12 兆 3,129 億円となり、前月比 0.3%増となり、前月とほぼ同水準となった。

発行額(億円)	平成21年6月	7月	8月	9月	10月	11月	前月比
国債	98,818	123,795	122,338	114,360	122,688	123,129	442
(うち 割引短期国債)	(19,000)	(23,000)	(23,000)	(23,000)	(24,499)	(26,499)	(2,000)
(うち 個人向け国債)	(0)	(4,873)	(0)	(0)	(3,104)	(0)	(3,104)

(注) 億円未満は四捨五入(以下同じ)

地方債、政府保証債及び財投機関債等

- ・地方債の発行額が増加したものの、政府保証債、財投機関債及び地方公社債の発行額が減少したため、合計額としては前月比 4.2%減の 1 兆 5,698 億円となった。

発行額(億円)	平成21年6月	7月	8月	9月	10月	11月	前月比
地方債	5,957	6,380	4,752	6,146	6,332	8,111	1,778
(うち 住民参加型)	(307)	(80)	(252)	(196)	(82)	(161)	(78)
政府保証債	4,800	3,300	5,200	3,200	5,000	3,150	1,850
財投機関債	2,079	3,423	3,112	4,069	4,910	4,367	543
地方公社債	120	110	0	420	150	70	80
計	12,956	13,213	13,064	13,835	16,392	15,698	695

普通社債

- ・普通社債の発行額は、2,540 億円となり、前月比 67.4%の大幅減となった。

発行額 (億円)	平成21年6月	7月	8月	9月	10月	11月	前月比
普通社債	22,905	13,890	4,894	8,980	7,800	2,540	5,260
(うち 個人向け社債)	(2,592)	(150)	(3,200)	(750)	(1,830)	(100)	(1,730)
電力債	600	1,500	200	800	1,000	100	900
一般事業債	13,682	6,500	1,460	6,270	3,570	2,080	1,490
NTT・JR・JT債	3,100	500	0	650	0	0	0
銀行社債	5,343	5,390	3,234	1,260	3,230	360	2,870

- (注) 1. 一般事業債には、放送債券及び投資法人債券を含む。
 2. 普通社債のうち個人向け社債は、個人向けであることを引受証券会社に確認できたもの。

円建外債、C B 及び資産担保型社債

- ・円建外債は4 銘柄が発行され、発行額は前月比 290 億円減の 710 億円となった。
- ・C B (転換社債型新株予約権付社債) は昨年 12 月以来となる 2 銘柄が発行され、発行額は 1,000 億円となった。

発行額 (億円)	平成21年6月	7月	8月	9月	10月	11月	前月比
C B	0	0	0	0	0	1,000	1,000
資産担保型社債	0	0	0	0	0	0	0
円建外債	930	2,031	1,000	1,494	1,000	710	290
計	930	2,031	1,000	1,494	1,000	1,710	710